



人to木(ひととき) STUDY-TOUR

実施報告書

2024.10.14

旭川市建築部建築総務課

開催概要

< 人to木STUDY-TOUR 2024 >

■ 開催目的

建物から家具や生活雑貨まで、身の回りにある生活を支えるたくさんの木材が、どこで作られどのように手元に届くのか、地域の木材流通の川上と川下をつなぐ「人と木」の仕事について学ぶ。



■ ツアー概要

- 日時：2024年10月14日(月・祝)8:45～16:00
- 行先：北海道立北の森づくり専門学院(北森カレッジ)
市有林神居地区
道の駅あさひかわ
旭川林業会館前広場
- 参加者：9名(高校1、2年生) ※定員15名

TOUR SCHEDULE

ツアー行程



オリエンテーション

手作りの木製ネームを配布し、今回のツアーの主旨説明のほか、木の仕事の基礎知識についてガイドをしました



北森カシジ

森林の現状や林業の考え方について講義を受け、北森カシジの内装材等の木材名クイズを行ったあと、林業機械シミュレーターやチェーンソー作業を体験しました



市有林神居地区

林内を入口から間伐の現場まで散策し、立木の樹木名クイズで理解を深め、間伐場所では木立にセットした「森のカフェ」で林業の仕事について学びました



旭川林業会館前広場

旭川林業会館前広場の銘木市会場を訪れ、たくさん集積された丸太をじっくり見学しながら、道内各地から集まる広葉樹の市場内容の紹介を受けました。続いて薪割り＆火起こしを体験し、焚き火を囲んでマシュマロを焼いて紅茶を沸かし、楽しんで木の有効活用を学んだあと、最後に全体を通した「おさらいクイズ」でツアーを締めくくりました



道の駅あさひかわ

クラフト・木彫品などの地場産品を見ることがもできる「道の駅あさひかわ」で昼休憩をとりました

講師



北森カレッジ 土屋学院長

〈@北森カレッジ〉

- 森林の現状と役割、循環型の管理が大切である林業の考え方、生産現場の環境についてスライドで学習
- 北森カレッジ校舎で使われている木の内装や家具を見学しながら、木材名クイズで樹種ごとの特徴を学ぶ
- ゲーム感覚で高得点を目指す「林業機械シミュレーター」の操作体験（全員）
- 林業従事者と同じ防護服を着て丸太をチェーンソーで伐る作業体験（参加者のうち2名が作業）

〈@市有林神居地区〉

- 広葉樹が自生するエリアから針葉樹の間伐場所まで散策し植生を観察しながら樹木名のクイズ
- 間伐場所で林業の現場を見学し、立木を伐倒する技法など実際の仕事について学ぶ
- 木々の間に椅子を並べて作った「森のカフェ」のティータイムで、講師を囲み「林業Q & A」



北森カレッジ 山本主任講師



林業機械シミュレーターの操作体験、短い動線を意識して効率的に丸太を移動させ、中には高得点で適性がありそうな参加者もいました



チェーンソー作業体験では安全な取り扱いのレクチャーを受けたあと、緊張しながらも丸太を自分で切り落とすことができました



市有林の林道を徒歩で散策しながら、秋に熟す木の実や野生動物の痕跡を観察、実際の空気をしっかり感じて勉強ができました



大自然で過ごすティータイムはリラックスした雰囲気、木や森林・林業について参加者からの質問も多く、活気がありました

STUDY : 川中▶川下

木と人をつなぐ仕事と木の有効利用について <旭川市林業会館前広場>

講師



旭川地方木材協会
宮島事務長

旭川市建築総務課 担当者

<木材の流通>

- 銘木市会場で、道内各地から集められた広葉樹の丸太を前に、木材市場の状況を紹介
- 様々な樹種の丸太を見比べながら、用途(突板・家具・内装材など)について教わる
- 「山から市場へ、市場から消費者まで」木材がどのように流通しているか理解を深める

<木材利用>

- 体を使って木とふれあう薪割り体験で、シラカバやカラマツ・トドマツなど身近な樹種の材質を肌で感じてみる
- 薪になった木の断面を観察して針葉樹と広葉樹の性質の違いを学習
- ライターを使わず火花で着火する焚き火の起こし方にチャレンジ
- 自分たちで割った薪の焚き火でマシュマロを焼いて紅茶を沸かし、楽しんで木材を活用



大きな丸太がならんだ集積場で、様々な樹種の材を見学、一本ずつランク付けされていて、上位のものは大きくて美しく、価格にも圧倒されます



上からハンマーで叩く方式の器具を使って薪を割りました
割れる感覚が新鮮で、用意した材がなくなるまで夢中で頑張りました



焚き火台にセットした麻の繊維と針葉樹の小割材に向かって、ファイヤースターターの火花を飛ばして着火!
結構コツがいるようです



火を起すと煙の香りでアウトドアの雰囲気、強火の遠火で大きめのマシュマロが上手に焼けていました

人to木 Quiz < 人to木STUDY-TOUR 2024 >

ツアーの最後に学んだことを確認するクイズを行いました。講師の説明を聞いていれば大丈夫?! 全問正解した人には「木」にちなんだプレゼントを進呈しました!



人to木スタディツアー クイズ

正解だと思うものに「○」を付けてください

第1問

今日使用した木製のネームは五平餅のハネ品を使用しましたが、その木の種類は次のうちどれでしょうか

- A シラカバ
- B シラキ
- C エゾマツ



第2問

北森カレッジで体験した、木を伐倒・枝払い・玉切り・集積を一貫して行うことができる、高性能林業機械は次のうちどれでしょうか

- A チェンソー
- B ハーベスタ
- C フォワーダ



第3問

木の成長を助けたり、地面まで光を届けるために、適当な間隔で木を切る作業は次のうちどれでしょうか。

- A 皆伐(かいばつ)
- B 除伐(じよばつ)
- C 間伐(かんばつ)



第4問

木材に彫刻を施して作られた、木彫品に熊ぼっこがありますが、昭和2年創業の木彫り民芸品店の名前は次のうちどれでしょうか

- A トミハラ民芸
- B トミヤ郷土民芸
- C トーテム常盤



第5問

きれいにピラミッド型に積まれた原木の山をなんと言うのでしょうか

- A 椏積み(はいづみ)
- B 山積み(やまづみ)
- C 棒積み(ぼうづみ)



第6問

木目がまっすぐで白い、軽くて柔らかい樹種は次のうちどれでしょうか

- A カラマツ
- B エゾマツ
- C トマツ

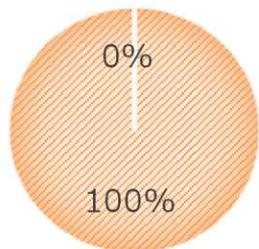


※正解した数を書いてください 正解数 問

解答は9P

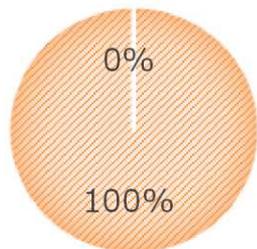
アンケート < 人to木STUDY-TOUR 2024 >

林業機械シミュレーターは、またやってみたい



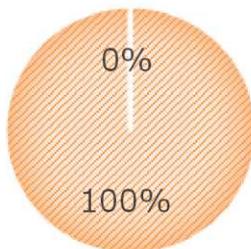
- そう思った
- そうは思わなかった

チェーンソー操作は大変だが、またやってみたい



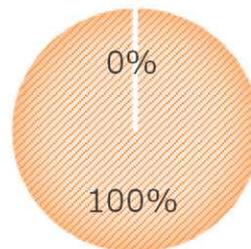
- そう思った
- そうは思わなかった

森の中の散策やガイドのおかげで普段は経験できない発見があった



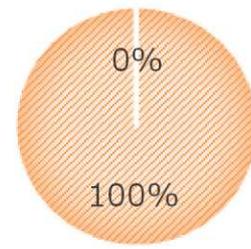
- そう思った
- そうは思わなかった

森の管理をする仕事に、いろいろな方法があることが勉強になった



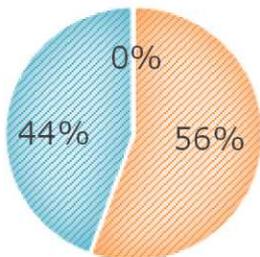
- そう思った
- そうは思わなかった

北森カレッジの授業に興味があった



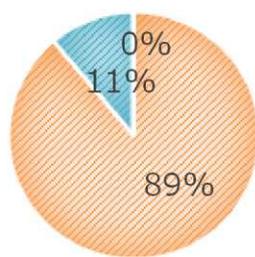
- そう思った
- そうは思わなかった

クラフトや木彫品が旭川で作られていることを初めて知った



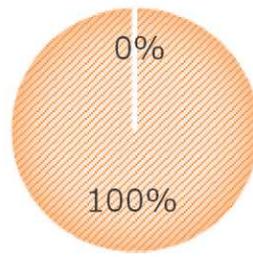
- 初めて知った
- 少し知っていた
- 知っていた

銘木市で木材の競り(せり)が行われていることを初めて知った



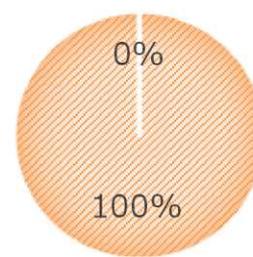
- 初めて知った
- 少し知っていた
- 知っていた

色々な種類の丸太を一本一本よく観察できて面白かった



- そう思った
- そうは思わなかった

薪にするなど、木が最後まで無駄なく使えることを理解した



- そう思った
- そうは思わなかった

FEED BACK : 参加者の声



今後も良いツアーにしていきたいので、思ったことがあれば教えてください。

- なかなか体験出来ないことが出来てとてもいい経験になったし、クイズのおかげで説明していたことが覚えやすかった。
- 持ち物が少なくてよかった。途中休憩があってそこでお菓子や飲み物がでて嬉しかったし、楽しかった。
体験も色々できてよかった。
- 市有林の中でのお茶会が楽しかった。薪割りも初めて体験しましたが、力仕事で大変だった。
- もっとスタディツアーに参加する人たちが楽しく思えるように木材をたくさん使った建物の見学などもあればもっと楽しくなりそうだなと思った。
- ずっとびしっとした授業ばかりではなくたまにお菓子や飲み物を出して頂いたことで飽きずに楽しく学べました。
- 林業に関わることは普段ないので見れない場所をしっかりと見学できてよかったし、ツアーの内容も非常によかったです。
- マシュマロがおいしかった!!!!!!!!!!!!!!

■ 掲載先

■ WEB

- LINER WEB (旭川市・近郊地域のタウン情報サイト※ライナーのWEB版)
- 旭川市ホームページ

■ 紙面

- ライナー (旭川市・近郊地域のタウン情報フリーペーパー)
- 北海道建設新聞

LINER WEB

旭川の森から始まるスタディツアー
一人と木をつなぐ仕事
地域材の循環知って

カーボンニュートラル実現のために地材地産が推進される現代、持続可能な森林づくりにつながる循環型の住まいづくりを学ぶ「人と木スタディツアー」が10月14日(月祝)の午前8時から午後4時に開催されます。

北の森づくり専門学校(旭川市西神楽1-10号)での林業機械シミュレーター体験から、神恵町市有林の散策、道の駅あさひかわで地元のクラフト見学、旭川林業会館で薪割り体験などを通し、近くの霊山から木材が流通していく仕組みを学びます。「木材の出所に心を通ずることが、豊かな資源を維持する一助になると考えます。まちの未来を考えるきっかけになれば」と担当。

参加無料、対象は中学2年生から高校2年生で、定員15人、10月4日(金)午後5時までに二次元コードから申し込んでください。当番の通知は後日メールで届きます。電話での申し込みは不可。問い合わせは旭川市建築部建築総務課(TEL: 0166-25-9708)へ。

申し込みはこちら

ライナー

旭川の森から始まるスタディツアー
一人と木をつなぐ仕事
人と木STUDY-TOUR
スタディツアー
参加者募集

いつもの景色に新しい発見!

10月14日(月祝)
8:45~16:00

参加無料

定員 15名

持ち物 動きやすい服装、防寒上着、帽子、長靴・傘等の用品。
筆記用具、飲み水、現金(各自持ち)

申込方法 QRコードを読み取り、ホームページからの申込フォームよりお申し込みください。

申込締切 2024年10月4日(金)17:00まで

※申込締切後の申し込みはできません。

【集合場所】JAF旭川駅 東コンコース「旭川どうぶつセンター」
【集合時間】10月14日(月祝) 8:30集合

【ツアー行程】
8:30 集合
8:45 旭川駅 出発
9:10 林業機械シミュレーター体験
11:00 市有林神恵地区(旭川市神恵町) 森林の散策
12:45 道の駅あさひかわ(旭川市神楽4-7-1) 地元のクラフト・木製品 展示・体験
14:00 旭川林業会館5F(旭川市北1-10-1) 薪割り体験
16:00 旭川駅 到着

【参加費】無料

【申込】10月4日(金)17:00まで

【お問い合わせ】旭川市建築部建築総務課 TEL: 0166-25-9708 E-mail: reform@city.asahikawa.lg.jp

北海道建設新聞

林業紹介ツアー
10月14日に開催
旭川市

【旭川】旭川市、林業の仕事を知ってもらう「人と木スタディツアー」を10月14日に開催する。中学2年生から高校2年生までの15人を10月4日まで受け付ける。

参加無料。

木材の生産や流通に理解を深めてもらうために企画した。木利用促進や普及啓発に用いる森林環境債と税を活用する。道庁北の森づくり専門学院で林業機械のシミュレーター体験をするほ

予定している。申し込みは市のホームページの特設ページで受け付ける。問い合わせは建築総務課、電話0166(25)9708まで。

WEEKLY SCHEDULE
週間予定

宗谷地方
▽校舎建設協会の校舎町合同安全パトロール(10月2日午前9時、枝幸町内)
▽建設防犯内分安全パトロール(10月4日午前10時半、天塩町、遠別町内)

クイズ(6P)の解答

〈第1問〉→A:シラカバ

〈第2問〉→B:ハーベスタ

〈第3問〉→C:間伐

〈第4問〉→B:トミヤ郷土民芸

〈第5問〉→A:槿積み(はいづみ)

〈第6問〉→C:トドマツ